

日本工学院専門学校		開講年度	2019年度（平成31年度）		科目名	資格対策講座3	
科目基礎情報							
開設学科	電子・電気科		コース名	電子工学コース		開設期	前期
対象年次	2年次		科目区分	選択		時間数	30時間
単位数	2単位				授業形態	講義	
教科書/教材	プリントを配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。						
担当教員情報							
担当教員	須田 能充(電気学会認定IEEJプロフェッショナル)			実務経験の有無・職種	有・電子回路設計・開発		
学習目的							
電子系特に無線系各種資格取得のためのバックアップ講座。 資格対策講座2に続き、国家試験過去問題を中心に第四級海上無線通信士・第一級陸上特殊無線技士以上、上級資格である第一・二級陸上無線技術士の無線工学の合格を目指す。特に過去国家試験問題について学ぶ。							
到達目標							
習得した知識と技術を活用し、下記資格の取得を目指す （１）プロの無線系国家試験である第四級海上無線通信士の国家試験に合格する。 （２）第一級陸上特殊無線技士以上の無線系国家試験取得を目指す。							
教育方法等							
授業概要	過去の無線従事者国家試験で出題された問題を中心に授業を行う。 国家試験過去問題を中心に、参加型の授業を行い、問題解決についての方法等を学び、無線工学の理解を深める。						
注意点	授業には積極的に参加し、課題、レポートは期限内に提出すること。授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。途中退出は目的を明らかにし事前に許可を得ること。授業時間内の飲食は禁止とする。担当教員の許可が無い限り、携帯電話やスマホの使用を禁止する。授業時数の４分の３以上出席しない者は定期試験を受験することができない。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	試験・課題	80%	試験と課題を総合的に評価する				
	レポート	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する				
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する				
授業計画（１回～8回）							
回	授業内容			各回の到達目標			
1 回	アンテナの基礎理論			アンテナの基礎理論について理解する			
2 回	アンテナの実例			各周波数帯の違いによる空中線（アンテナ）の特徴について理解する			
3 回	給電線と整合回路			給電線と整合回路について理解する			
4 回	電波伝搬			各周波数帯における電波の伝搬特性について理解する			
5 回	アンテナ・給電線の測定			アンテナ・給電性・電波に関する測定について理解する			
6 回	第一級陸上特殊無線技士過去問題			過去問題の内容を十分に理解する			
7 回	第二級陸上無線技術士過去問題			過去問題の内容を十分に理解する			
8 回	第一級陸上無線技術士過去問題			過去問題の内容を十分に理解する			